

ワンポイントアドバイス!

認知症の方へ接する時のポイント

認知症で一番不安なのはご本人です。接する時は「驚かせない」「急かさない」「自尊心を傷つけない」ことが重要です。ご本人やご家族が安心して暮らせるよう、主な認知症の症状や対応をご紹介します。

認知症とは

認知症とは、記憶や判断を行う脳の機能(認知機能)が低下し、様々な状況に対する判断が適切にできなくなるなど、日常生活をする上での支障が少しずつ増えていく脳の病気です。

主な症状と対応

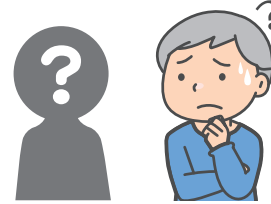
認知症の症状に寄り添って接することが大切です。



「今日は、何月何日？」
→日時がわからなくなる
答えられなくても問題視せず、大きな日めくりカレンダーをかけておくなどの工夫をする。



「ごはんは、まだ？」
→全体の記憶の障害
「できるまでこれ(お茶やお菓子)を食べて(飲んで)いてね」などと話題を変えて納得してもらう。



「あなたは、誰？」
→家族を忘れる
家族の名前を忘れたり、自分とどういう関係なのかわからなくなっても、別人になりきってふるまう。

認知症の進行を遅らせるリハビリ?

家事、買い物、散歩、趣味など、できることは今まで通り続けることがリハビリになります。役割があると気持ちの安定にもつながります。

気になる症状がある場合は、医師に相談しましょう。

監修：作業療法士